

みごろの花&生きもの 散策コースマップ

2023

5月中旬～6月中旬

--- 季節のおすすめ散策コース ---
(ゆっくり歩いて1時間)
--- おてがるコース ---
(ゆっくり歩いて30分)



トノサマガエル(アカガエル科)
緑に黒い斑点模様が特徴的なカエル。田んぼに水が張られる頃、繁殖期を迎えます。

シュレーゲルアオガエル(アオガエル科)
春になると田んぼや池の周りで「コロコロ」という美しい声が響きはじめます。しかし土の中で鳴いているため、その姿はなかなか見られません。



ミヤマカラスアゲハ(アゲハチョウ科)
光を反射して青く光って見える、里山を代表する美しいアゲハチョウです。



ホトギス(ホトギス科)
鳴き声がユニークで、昔から「東京特許許可局」とか「テッペンカケタカ」などと表現されます。田植えの頃に鳴きはじめます。



オカトラノオ(サクラソウ科)
小さな白い花が集まってできた花穂が、トラの尾っぽを思わせる、かわいらしい花。



クリ(ブナ科)
クリの花は、独特のにおいを辺りにただよわせて、虫たちを呼びます。



カキノキ(カキノキ科)
歩いていると見過ごしてしまいそうな花ですが、よく見るとほんのりクリーム色をしています。

ウツギ(アジサイ科)
山野の川沿いや林縁で白い花を咲かせます。別名「ウノハナ」とも。「卯の花の匂う垣根」とも唱歌にも歌われています。



コガクウツギ(アジサイ科)
アジサイの仲間、花びらのように見えるのは「がく」の部分。近づくといい香りがします。別名コンテリギとも。



ササユリ(ユリ科)
葉っぱがササにそっくりなユリ。地域によって花の色が少しずつ違って、白色～濃いピンク色の可憐な花を咲かせます。



チガヤ(イネ科)
日本全国の明るい草地に生育します。花のあと、白いふわふわの綿毛とともに果実が飛んでいきます。



コウゾリナ(キク科)
花はタンホホに似ていますが、葉や茎をさわるとゲトゲチクチクしています。



ノアザミ(キク科)
赤紫色の花が目立ちます。昆虫たちが蜜を吸いにくる姿もよく見られます。



クララ(マメ科)
この草の根をかむと、くらくらするほど苦い、ということが名前の由来です。古くから薬として利用されてきました。



ウメ(実)(バラ科)
ウメの果実は、梅干しや果実酒、シロップ漬けなど、さまざまな楽しみ方があります。里山の重要な果実のひとつです。



木見川散策路 ～緑陰の散策～
樹木の葉が初夏の日差しをかわし、心地の良い涼しげな散策ができます。



ドクダミ(ドクダミ科)
ちぎると独特のにおいがしますが、乾かすと臭みが消えておいしいドクダミ茶になります。



コガクウツギ(アジサイ科)
アジサイの仲間、花びらのように見えるのは「がく」の部分。近づくといい香りがします。別名コンテリギとも。



おすすめ
スポット